

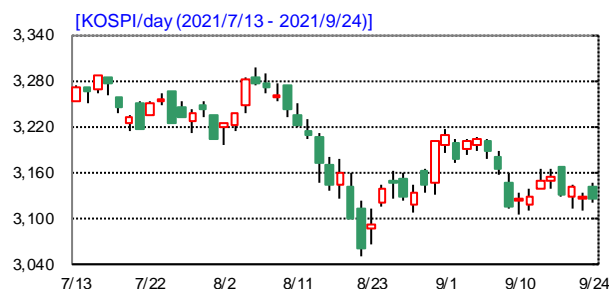


## 【韓国】 総合指数は週間で0.5%安と反落、今週はリスク選好の地合いに回復か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.5%安と反落。中秋節の連休のため20-22日が休場となり、2日間の取引だった。中国恒大集団の債務危機が世界各地の金融市場に波及しかねないとの不安が広がり、23-24日の相場を押し下げた。休場明け23日は、21-22日に開かれた米FOMCの結果も嫌気され、前営業日比0.4%安と反落。24日は前場に上げたものの、結局は小幅安で引け、終値は9日以来、ほぼ2週ぶりの安値となった。同日の中国本土や香港の株安が投資家心理を冷やしたもよう。今週は反発か。中国恒大集団の債務危機を巡る過度の警戒感が後退し、リスク選好の地合いが戻ると予想する。注目の経済指標は英HISマークイットが10月1日に発表する9月の韓国製造業PMI。週末にかけては中国の製造業PMIも発表される。

▼指数チャート

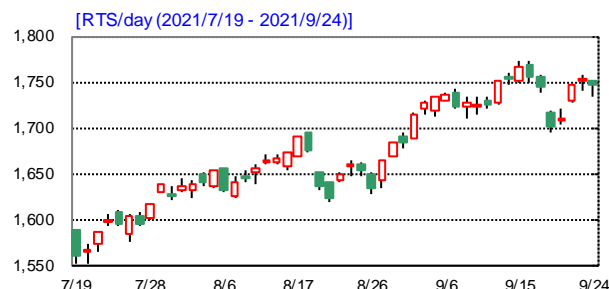


## 【ロシア】 RTS 指数は0.1%高と小幅続伸、今週も原油相場や海外株が焦点か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で0.1%高と小幅に続伸。中国リスクが意識され週初に大きく下落したが、リスク回避の緩和、原油高、海外株高を受けて反発した。週明け20日の指数は前週末比2.5%安。米FOMCへの警戒感や中国不動産大手の中国恒大集団のデフォルトリスクが意識された。ただ、中国恒大集団のデフォルト懸念が和らいだことで21日に0.6%高と反発すると、22日は海外株高や原油高を背景に2.1%高と大幅続伸し、前週末の水準を回復した。ブレント原油は3.7%高と3週続伸し、ルーブルは対米ドルで0.3%上昇した。個別ではエネルギーのロスネフチが8.3%高、ルクオイルが3.4%高となった一方、ダイヤモンド採鉱のアルロサが2.8%安、金融のTCSグループが2.6%安だった。今週も原油や海外株が焦点か。

▼指数チャート

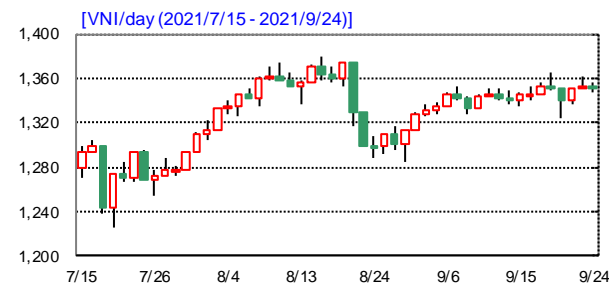


## 【ベトナム】 ベトナム指数は0.1%安と4週ぶり反落、今週は先進国の金利上昇が重し

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で0.1%安と小幅に4週ぶりに反落。中国リスクが意識されて下落した後、海外株高を受けて反発したが、戻りは限定的だった。週明け20日は前週末比0.2%安で、21日は中国恒大集団のデフォルトリスクを嫌気した海外株安を受けて0.8%安と続落。一方、22日は中国恒大集団のデフォルト懸念後退でVN指数は0.8%高と反発した。23日も0.2%高と続伸したが、24日は出来高が減少する中、主力株が売られ、指数は0.1%安と小幅に反落した。個別では金融の軍隊商業銀行、ベトコム・バンクが2.4%、テクコムバンクが1.7%上昇した一方、ゴム製品のベトナム・ラバーが4.0%、食品加工のマサン・グループが2.5%、鉄鋼のホア・ファット・グループが1.9%安下落した。今週は先進国の長期金利の上昇が重しか。

▼指数チャート



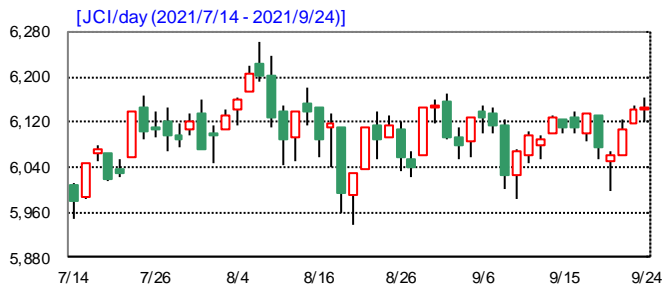


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.2%高、中銀の経済成長率見通し据え置きを好感**

ジャカルタ総合指数は週間で 0.2%高と続伸。週半ば以降の上昇が奏功した。週初の 20 日は、中央銀行による金融政策決定会合の開催を翌日に控えた様子見で反落。21 日は場中に一時、6000 ポイントを下回ったが、中銀が今年の経済成長率見通しを前回予測の 3.5-4.3%に据え置くと、終値ではこの水準を回復した。22 日は前日の中銀の声明内容に加え、中国恒大集団の債務危機に対する警戒感が和らいだ効果で 3 日ぶりに反発。23 日は中国株の上昇に連動して買われると、24 日まで 3 日続伸して引けた。今週は 1 日に 9 月の CPI が発表される予定。外部要因で中国恒大集団の動向が引き続き注目を集めそうだ。

### ▼指数チャート

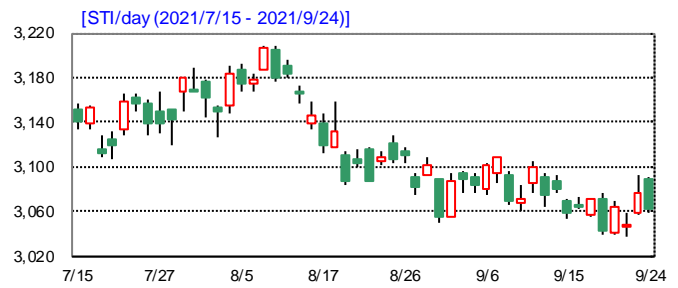


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.3%安、中国恒大集団の経営危機を嫌気**

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.3%安と続落。一進一退の不安定な値動きだった。週初の 20 日は、前週末の NY ダウが下落した流れで、前営業日比 1.0%安と 3 日ぶりに反落。21 日は買い戻されたが、22 日は米 FOMC に対する様子見や中国恒大集団の経営悪化、国内のデルタ株の感染拡大が嫌気されて反落した。一方、23 日は前日に閉会した FOMC の内容がほぼ想定内だったほか、恒大集団が人民元建て社債の利払い実施を発表したことが好感されて反発。ただ、24 日は同社の経営破綻に対する警戒感が再び高まり、反落して引けた。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右しそうだ。

### ▼指数チャート

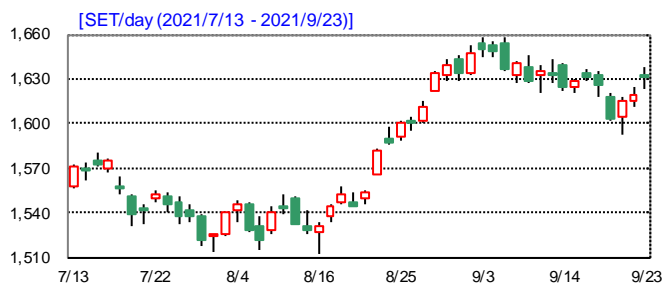


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.3%高、サイアム商業銀行の事業再編計画発表を好感**

SET 指数は 4 日間の取引で 0.3%高と 3 週ぶりに反発。週初の下落分をその後の上昇で補った。20 日は政府が経済対策として、公的債務の上限を対 GDP 比で現行の 60%から 70%に引き上げる方針を決めたことなどが嫌気され、指数は前営業日比 1.4%安と続落。21 日は場中に一時、1600 ポイントを下回ったが、終値ではこの水準を回復し、3 日ぶりに反発した。22 日も買い優勢の展開が続くと、23 日は事業再編計画を発表したサイアム商業銀行が指数上昇をけん引し、3 日続伸して連休前の取引を終えている。今週は 29 日に 8 月の鉱工業生産が発表されるほか、中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。

### ▼指数チャート

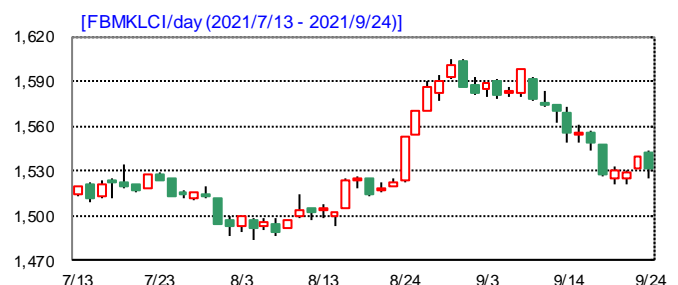


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.1%安、今週は 8 月の貿易統計に期待**

クアラルンプール総合指数は週間で 1.1%安と 4 週続落。週初の下落が痛手だった。20 日はサイム・ダービー・プランテーションとトップ・グローブが指数下落を主導し、前営業日比 1.3%安と 7 営業日続落。21 日は反動で買い戻されたが、22 日は中国恒大集団の債務問題を背景とする世界的な株安に連動して、小幅に反落した。週後半も不安定な値動きが続き、23 日は反発したものの、24 日は中国当局が地方政府に対し、中国恒大集団の経営破綻に備えるよう指示していたとの報道が売り材料視され、反落して取引を終えている。今週は 28 日に 8 月の貿易統計が発表される予定で、市場予想を上回れば好材料。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。